

20. 芦屋駅周辺の「イチ押し産業遺産」

<芦屋川川底トンネル>

日本初の鉄道トンネルは神戸にある。1872年に日本で最初の鉄道が東京・新橋―横浜間で開業した。1874年には大阪と神戸間が開通した。現在のJR東海道本線である。殖産興業の時代、鉄道は産業の潤滑剤であり、国家の威信をかけた一大事業であった。当初鉄道はなだらかな海に近い沿岸地帯に線路を敷設するつもりだったが、地元の酒造家が汽車の煙で酒が腐ると反対し、山麓を通る現在の路線に変更された。

このJR線の阪神間には川床の高さが周囲の平野面より高くなった石屋川・住吉川、芦屋川の天井川があり、当時の汽車の馬力では急な坂を登ることができず、考え出されたのが川の下にトンネルを掘る案で、川底トンネルは欧米でも珍しく、英国紙「イラストレイテッド・ロンドン・ニュース」は1876年9月2日付けの紙面で詳細を報じたほどであった。石屋川川底トンネルは今もなくなったが住吉川、芦屋川で同様に掘られた川底トンネルは今もある。上の写真は鉄道が開業当時の芦屋川川底トンネルで現在は下の写真で大正15年の複々線工事のときに変えられた時のコンクリート柱などの姿が残っている。手前にある鉄橋は川底トンネルと併設された道路橋です。(谷口 耕造 記)



芦屋市広報国際交流課提供



現在のトンネル